

課題名：地域の歴史文化遺産を活用した持続可能な住民活動意識の醸成

研究代表者：総合政策学部 教授 窪幸治

課題提案者：紫波歴史研究会 代表 佐藤観悦

研究メンバー：倉原宗孝（総合政策学部）、今野公顕（同大学院）

大沼信忠（紫波歴史研究会）

技術キーワード：紫波町、歴史・文化、保存・活用、スマホ、住民主体

▼研究の概要

歴史文化は時代を超えた地域や社会の貴重な資源（宝）である。その中には国指定重要文化財など著名なものもあれば、地元住民・関係者も十分に認識していないような知名度の低い、あるいは隠れた資源もある。本研究は、こうした各種歴史文化の視点から本県紫波町に存在する各資源を発掘・保存・活用・普及していくこと、またそのための住民主体の動きと体制づくりを目指すものである。ここでは、関連する講演会・普及活動、地域外の視点からの意見・アイデア交換等を通して、紫波歴史研究会が中心に始めた活動の広がりや地域内外の関心の高まり、今後展開していく意識・体制づくりが生まれてきている。

▼研究方法と今回の主な活動内容

①歴史文化の発掘整理と普及啓発活動

従来から取組んできた町内の多様な歴史文化の発掘整理と普及啓蒙。時宜を得たテーマでの講演会・学習会などを進めている。特に今回は神社や寺を巡る「歴史探訪ツアー」（11月8日）も実施し参加者に直接地域の歴史文化に触れてもらい関心・認識を促していった。



②スマホ活用による情報発信

SNS等が普及する現代、重要ツールである。会HP情報の検討・拡充と共にスマホを使いながら実際に紫波の歴史文化に触れてもらう企画も行った（スマホの実講演会、9月26日、27日）。また多くの専門的情報を蓄積しているが、その内容を意味をもって分かりやすく伝えるための方法など多世代で検討した。

「紫波歴史探訪」

スマホを使って訪ねてみませんか!!

探訪ツールができたので、まち歩きのお供にどうぞ。マップ地図と共にテキストと写真や音声ガイドで案内します。QRコード

サイト名「紫波の歴史探訪」

- ◎歴史探訪3コースの案内
- 「徳川氏時代の歴史遺産」
- 「新渡戸時代の歴史遺産」
- 「紫波の宗教遺産」

スマホサイトの実講演会開催

期日：9月26日(土)、9月27日(日)

時間：午後1時～3時

場所：紫波町情報交流館1F

連絡先：紫波歴史研究会 事務局 080-2831-5157

なお、一緒にサイトを作った方もどうぞ

④地域外視点(大学生)からの提案と議論

若い世代(大学生)の意見・アイデアを活動に反映する試みも行った。研究会活動を知ってもらい、また現地の各資源に触れてもらい、感じた意見、またそれらを活かしたまちづくり提案が生まれた。それを踏まえて町内各団体・住民と今後の歴史文化保存活用のあり方、まちづくりの仕掛けなど議論共有に向かった。



③全国の保存・活用事例の情報収集・現地観察

関連する全国事例について、資料文献等から現状・動向を探り、現地観察も進めた。また近年注目される災害時での文化財の取り扱われ方にも焦点を向けた。



左から、吉野ヶ里遺跡(佐賀県)、熊本地震の震災遺構(熊本県)、山田堰(福岡県)。他各史跡など情報収集を進めた。

▼今後の展開、持続発展的取り組みへ

歴史文化の内容についての知見、それを保存活用していく方向や方法が具体的に見えてきた。特に資源としての歴史文化をまちづくりの諸側面で活かしていこうとする方針が定まってきた。また普及啓発としてスマホなど具体的手段が確立する中で、紫波町役場とデジタル化推進の協定も生まれてきている。こうした成果を踏まえ、行政、町内主要団体など協力した推進体制も拡充してきた。

これらを踏まえ次年度以降、現在のテーマ・活動のさらなる展開と同時に、今日の社会における現状・課題、すなわち少子高齢化・過疎化、また地方都市の振興のあり方について、長期的展望を持ちながらさらに踏み込んだ活動を展開していく予定である。